

令和3年3月22日  
健康福祉部障害保健福祉課  
課長 田村 博  
内線 4080  
外線 076-225-1428

## いしかわ共生社会づくりモデル地域コミュニティの認定について

令和元年10月に「障害のある人もない人も共に暮らしやすい石川県づくり条例（共生社会づくり条例）」を施行したことを踏まえ、地域における共生社会づくりを推進するため、障害のある人との支え合いや配慮などに先進的に取り組む地域コミュニティをモデルとして認定する。今回第1号のモデル地域コミュニティの認定となり、県内全体に共生社会づくりに取り組む機運を拡げていくこととする。

### 1 認定式

日時 令和3年3月23日（火）10：30～  
場所 行政庁舎4階 特別会議室

### 2 認定団体

○七尾市たかしな地区活性化協議会（会長 宮崎 吉春）

地域にある障害者施設と太鼓やイベントを通じた交流活動を活発に行っており、住民の障害理解と配慮の環境づくりが進んでいる。手話教室や交流カフェの開催、移住者向けの冊子づくりなど住民主体のコミュニティ活動が活発に行われている。

○白山市千代野地区社会福祉協議会（会長 嶋 栄一）

子どもからお年寄りまで、障害の有無に関わらず、誰もが安心して暮らせるまちを目指して様々な福祉活動に取り組んでいる。「千代野はいかい対策委員会」では、地域住民と関係機関が協力し、困っている人に積極的な声掛けやサポートを実施しているほか、ヘルプマークの普及啓発や、福祉教育を積極的に進めている。

○輪島市まんなか・ばんばざき商店会（代表 木谷 廣夫）

商店会が主体となり、地域と障害のある人の「ふれあい交流パーティー」を開催することで、地域住民や商店会の障害への理解が深まり、障害のある人に優しい商店街づくりにつながっている。このほか、精神障害のある人、引きこもりの人などの居場所づくりのサロンも主催している。